



株式会社中電シーティーアイ

1. 活用推進者

リソースディビジョン 人財開発室

室長代理兼企画グループマネージャー 井上 恒雄

専門課長 荒谷 直久

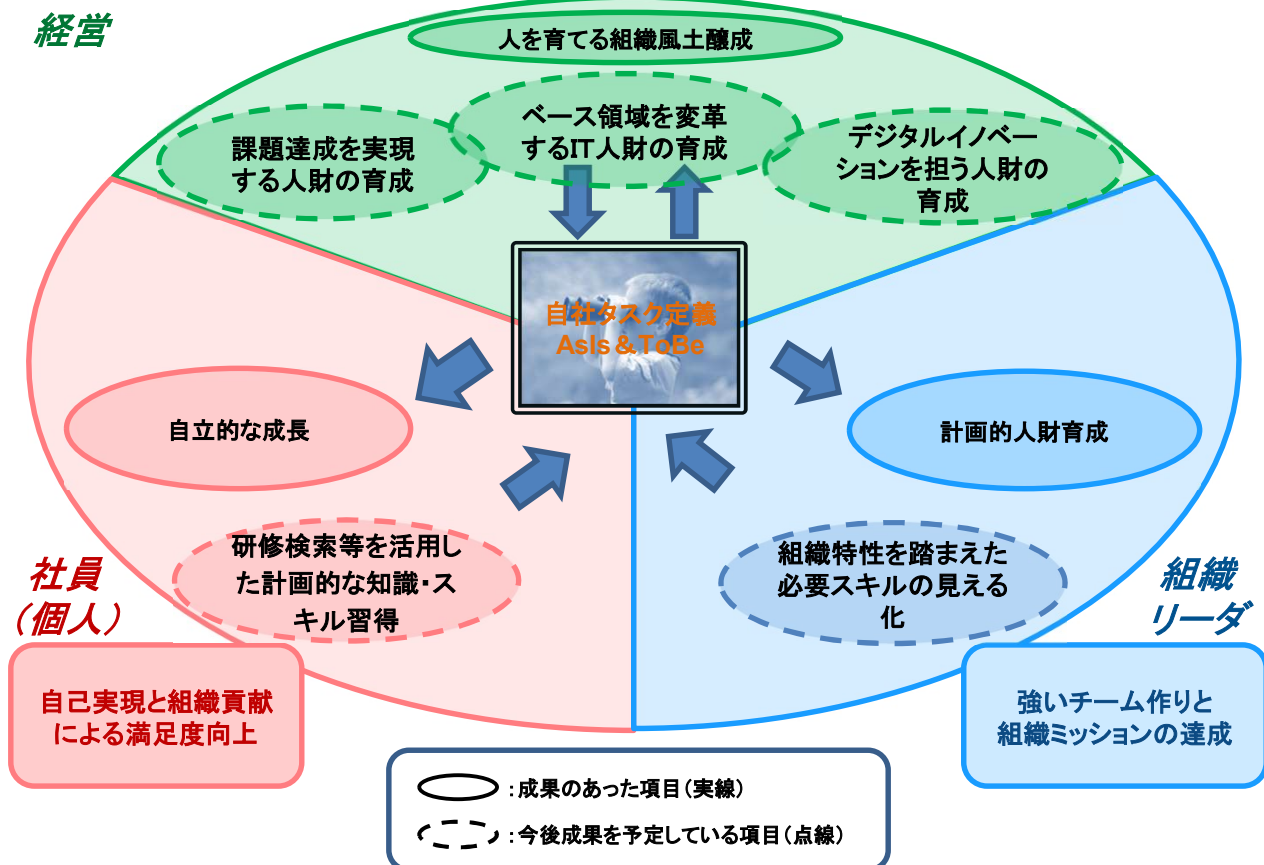
主査 高網 理恵

2. 会社概要

- 社 名 : 株式会社中電シーティーアイ
- 所 在 地 : 愛知県名古屋市中区正木1-4-6 正木ビル
- 設 立 : 2003年10月1日
- 代 表 者 : 内藤 雄順
- 資 本 金 : 1億円
- 社 員 数 : 1,159名

3. iCD取組み効果

経営戦略の達成とイノベーションを呼ぶ会社組織の構築



4. iCD取組みの効果及び今後予定する効果内容

4.1. 効果のあった項目

効果内容

人を育てる組織
風土醸成

社内スタンダード(iCD活用)によるスキルレベル判定が、年齢や職歴に配慮した判定となっていたためこれを廃止し、スキル経験診断のみに変更した。正確な診断により、人財育成のPDCAサイクルが回り、組織一丸となった人財育成風土の醸成ができた。

計画的な人財育成

上記スキル経験診断を踏まえ、将来を見据えた補強すべき業務知識・スキルを把握し、本人とともに習得・向上方法を協議した上で技術者の計画的な育成ができた。

自立的な成長

自身のキャリアやスキルを振り返り、今後の課題・目標を明らかにすることで、「自ら学び自ら行動する意欲」が高まり、「知識・スキル」の向上を促進した。

4.2. 効果を予定している項目

予定している効果内容

課題達成を実現
する人財の育成

あらゆる活動を進める上での基本となるビジネススキルの早期定着を図る。
事業環境・IT環境の変化に対応するCTI改革の推進に必要な知識・スキル習得研修充実により、関係社員を全面支援する。

ベース領域を変
革するIT人財の
育成

システム開発・保守・運用の分野に必要な高度専門技術者を育成する。プロジェクトマネジメントやプログラムマネジメントを推進する人財を育成する。超上流への拡大に向けて、高度で幅広い知識とコンサルティング力を持つ人財を育成する。

デジタルイノベ
ーションを担う人財
の育成

先端技術のスペシャリストを育成する。
外部の団体や企業との交流を推進するとともに、最新技術動向等の情報を収集・活用する。

組織特性を踏まえた
必要スキルの見える
化

組織の業務特性を踏まえ、スキル経験診断項目を組織ごとに定義することを可能とする。

研修検索等を活用し
た計画的な知識・ス
キル習得

スキル経験診断項目と研修コースを紐づけした研修検索機能を新設する。これにより、本人が次に学ぶべき知識を容易に把握できるようになり、主体的な学習行動を促すことができる。

5. iCD活用に対する現場からの評価の声



経営者

- ・当社の実業務にマッチした人財育成の仕組みを構築できた。
- ・技術者のITスキル向上に寄与している。



現場リーダー

- ・メインフレームから分散系への再構築の際、必要スキルを付与すべき対象者の絞り込みに**スキル経験診断**結果を活用できるようになった。
- ・診断結果をもとに、必要な経験をさせている。

- ・自身の経験・スキルの棚卸しができた。
- ・次の目標が明らかになった。



社員

6. iCD取組みの効果

■効果項目:人を育てる組織風土醸成

○社外調査結果で人財育成が高評価

Great Place to Work社(GPTW)による「働きがいのある会社」調査を実施し、人財育成に関して高評価を得た。この調査は、従業員へのアンケート調査のみならず、会社側にも調査を行い、会社施策も勘案して働きがいのある会社であるかの評価を行っている。

【GPTW評価結果概要】

強み	■ 育成する	「従業員へのアンケート」結果が相対的に高く 「会社へのアンケート」結果も相対的に高い ⇒ 会社の取り組みが充実しており、従業員の評価も高いエリア
-----------	---------------	---

- 育成する:内定者のタイミングから、主体的な学びを支援する一貫した取組みが数多く実施されている。また、数だけでなく海外への派遣や試験の費用の支援など金銭面でも手厚さが感じられる。

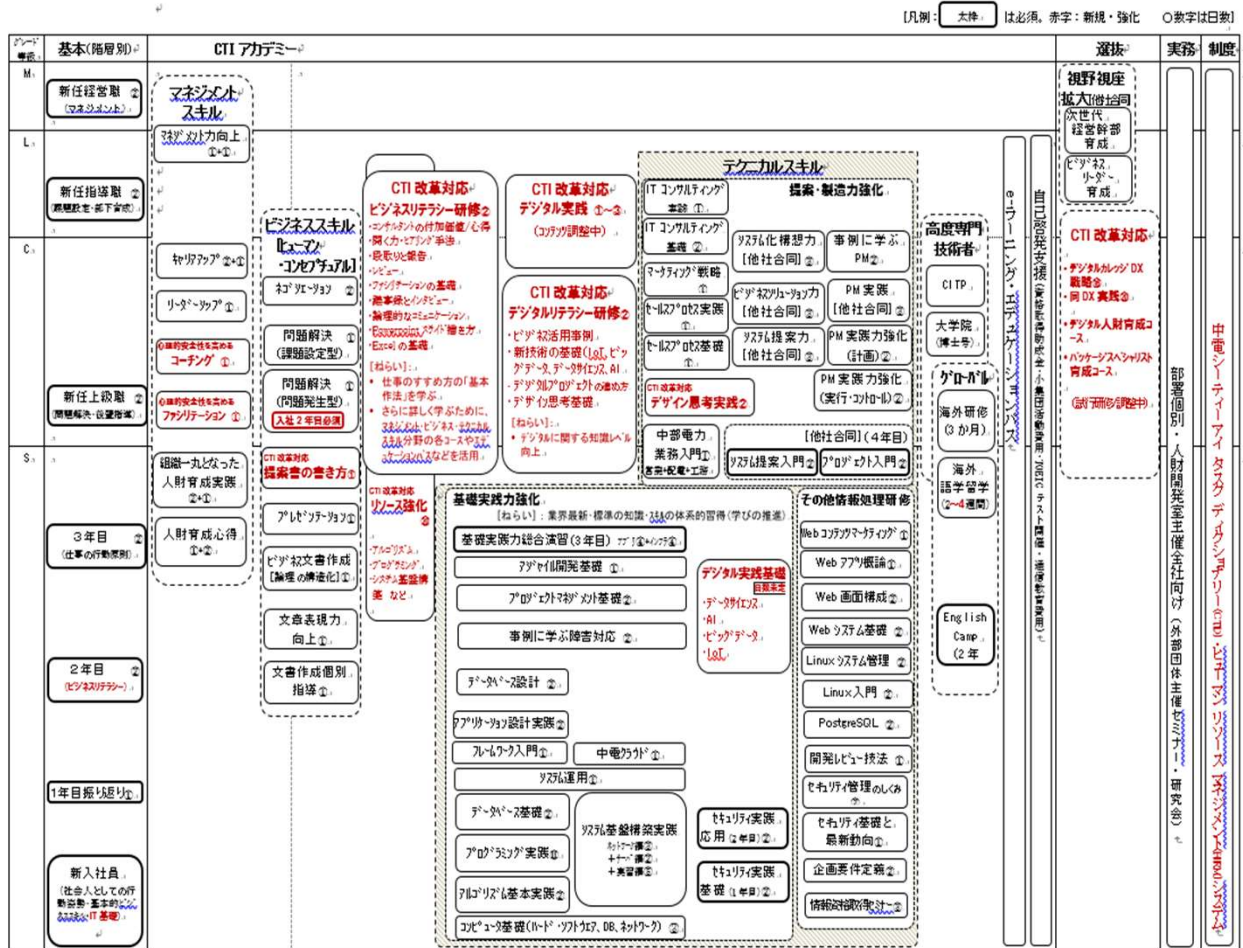
6. iCD取組みの効果

■効果項目:計画的な人財育成

CTD(中電シーティーアイ タスク ディクショナリー)を活用して、現在のスキル経験値を診断。それを踏まえ、将来を見据えて補強すべき業務知識・スキルを把握し、本人とともに習得・向上方法を協議した上で技術者の計画的な育成ができた。

2020年度の人財育成計画では、事業環境・IT環境の変化に対応するCTI改革の推進に必要な知識・スキル習得研修の充実を図る(下図参照)。

【2019年度人財育成施策外観(案)】

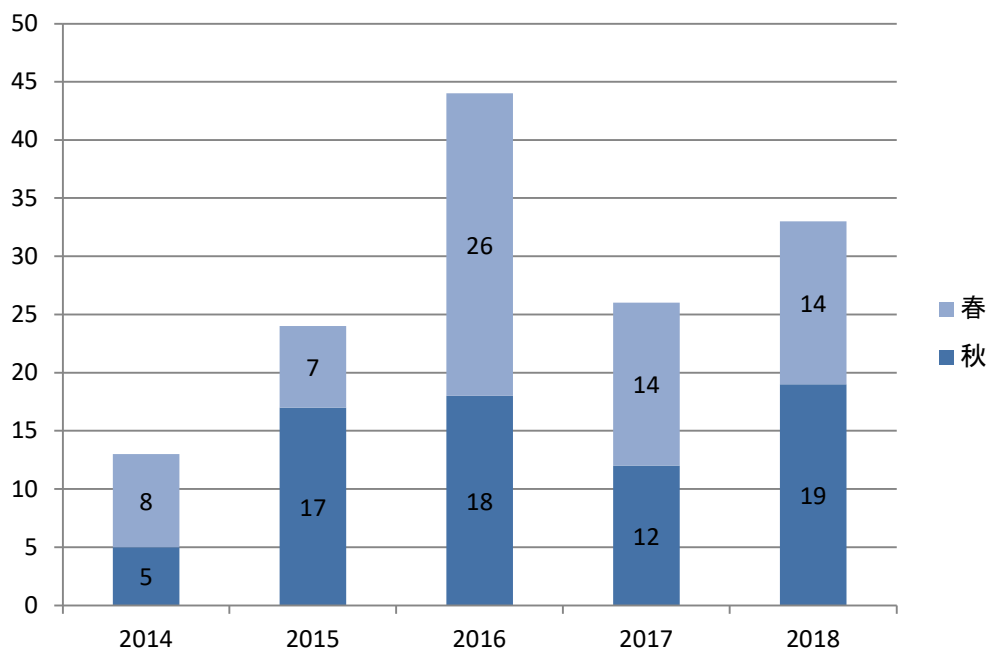


6. iCD取組みの効果

■効果項目：自立的な成長

「学びの風土」醸成を期待し、特に「高度情報処理技術者資格」に関しては、資格取得の向上を図っている(下図参照)。なお、学ぼうとする熱意ある社員に向けて、各種テーマの研修・勉強会や自己啓発支援策を充実している。

【高度情報処理技術者合格者推移】



【CITP取得者推移】

